

参加選手 各位

去る10月21日(日)、第25回いぜな88トライアスロン大会が開催される予定でしたが、台風第21号の影響により大会運営等に支障が生じることが予想された為、中止とさせていただきます。ここでその経緯をご報告します。

まず、10月7日(日)にフィリピンの東で発生した台風第21号は、発達しながら西寄りに進み11日(木)には中心気圧94.0hpa、中心付近の最大風速45m/sの非常に強い勢力となった。台風第21号はほとんど停滞した後、進路を北東に変えてゆっくりと進み、13日(土)には大型で非常に強い勢力となって、15日(月)には南大東島の南約350kmに達した。その後もほとんど停滞した後、進路を南西に変えてゆっくりと進み、19日(金)には沖縄本島へ再接近する予報が出ていた。

これを受け、15日(月)午後3時から急遽、臨時実行委員会を開催し、沖縄気象台等の台風の予想進路及び波浪予報を参考にしながら慎重な議論を重ねた結果、今大会の中止を決定いたしました。この時、特に重視したのが、大会参加にあたり道中の移動に伴う混乱と、選手の身体及び財産(自転車など)を守る事を最優先としました。また、台風が太平洋側を北上するため、本村の仲田港へのうねりを伴う波の影響と大潮の時期にも重なることから、フェリーが接岸できない場合が懸念されることでした。

沖縄本島と本村を結ぶ唯一の交通機関であるフェリー「ニューいぜな」は既に波の影響を受け、13日(土)は仲田港発上り1便のみ、14日(日)は時間変更の上下1便のみ、15日(月)は全便欠航となりました。緊急会議開催時の午後3時時点では北東の風、風速10m/s以上の強風が吹いており、その後波浪警報が発表されました。

このため、大会当日までフェリー運行の見通しが立たない状況にあり、大会運営に係る諸物資や村民の選手受入等を含めた生活物資も滞ることが予想されました。また、今大会は半数以上が県外参加者となっており、移動に支障が出ることなどを勘案した結果、早期に大会中止を決定するという苦渋の選択をさせていただきました。

選手の皆様におかれましては、今大会の参加にあたり、並々ならぬ努力を重ねてきたことと存じます。また、交通手段や宿泊場所などの手配も進めてこられたこととご推察致します。私たち伊是名村民も選手の皆様をお迎えする準備を進めて参りましたが、台風接近に伴う気象状況ではどうする事もできず、今回のような結果になったことは関係者一同、非常に残念でなりません。今大会を楽しみにされていた皆様方には多大なご迷惑をおかけしましたが、本村の地理的条件を含め、なにとぞご理解賜りますようお願い申し上げます。

なお、参加グッズ・大会記念品については後日、発送準備が整いしだい順次発送させていただきますのでお知らせします。

いぜな88トライアスロン大会
実行委員会会長 前田 政 義